

自動給餌機 **さんし郎**

KA型 単相 100V

取扱説明書

◆型式 KA-20-DT KA-40-DT
KA-80-DT

 **有限会社松阪製作所**

〒596-0049
大阪府岸和田市八阪町2丁目2番38号
TEL 072-438-2666 FAX 072-438-2536
E-mail mtskltd@matsusakaltd.co.jp
URL <http://www.matsusakaltd.co.jp>

この度は、自動給餌機『さんし郎』をご採用くださいます。誠にありがとうございます。本機は、給餌機の本質の機能を考え、より遠方まで、広角に、且つ均一な散布で、飼料効率のアップ、餌の状態に影響されない安定した定量性で、魚の健康管理と、給餌の合理化を目指し、研究開発された特許自動給餌機『さんし郎』です。

ぜひ、本機の性能を十分に発揮させ、永くご使用いただく為に、この説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。

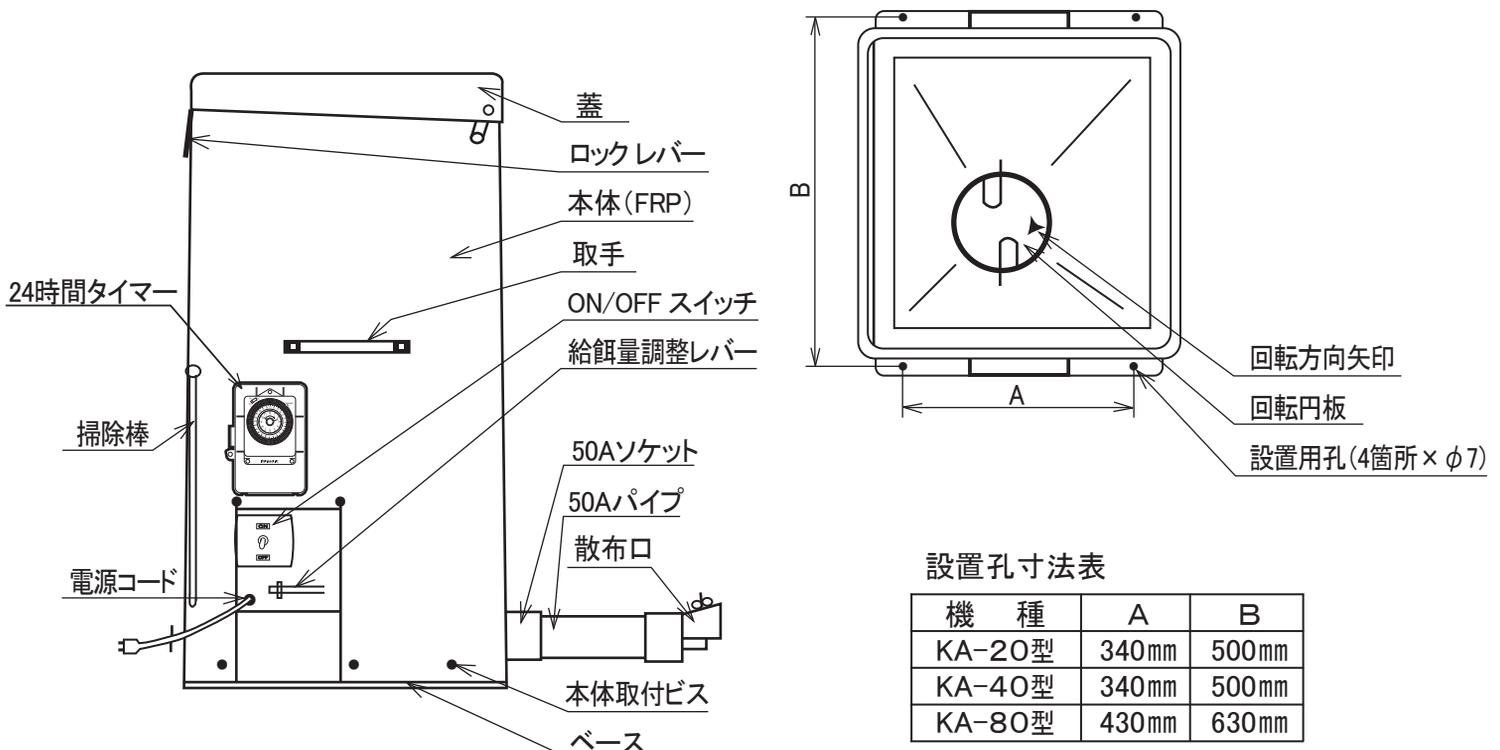
1. 性能・仕様

型 式	KA-20	KA-40	KA-80
タンク容量	41 L	82 L	165 L
餌(EP)容量	20 kg	40 kg	80 kg
給餌能力	50Hz Aタイプ 0~20kg/時・Bタイプ 0~32kg/時 60Hz Aタイプ 0~25kg/時・Bタイプ 0~40kg/時		
消費電力	50Hz・160W		60Hz・150W
本体重量	18 kg	20 kg	27 kg

餌種：初期飼料
クランブル
ペレット
電源：単相100V
タイマー：24時間
散布口径：50mm

※給餌能力は多量用もあります。

2. 各部の名称



設置孔寸法表

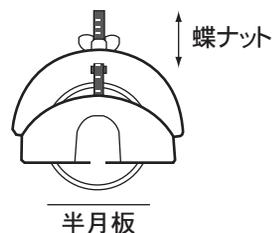
機 種	A	B
KA-20型	340mm	500mm
KA-40型	340mm	500mm
KA-80型	430mm	630mm

3. ご使用上の注意

① 設置方式・設備場所について

- ◆散布範囲は通常、幅3～3.5m、距離3～4mと広範囲です。しかも散布口の調整により散布状況を変えられますので、池の形状、設置場所に合わせて調整のうえ、最適な場所に設置してください。

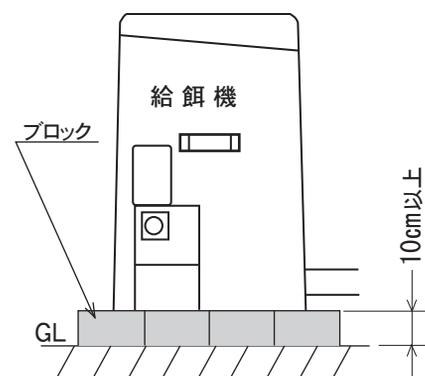
蝶ナットの上下および、半月板を軽く広げる
または狭めることで、散布状態が変化します。



- ◆直接地面に設置される場合には、必ずブロックなどを用い、10cm程度高くなるようにしてお使いください。

- ◆給餌機の底部に送風機の吸気口を、2ヶ所設けています。設置時に、この吸気口をふさがないようにご注意ください。

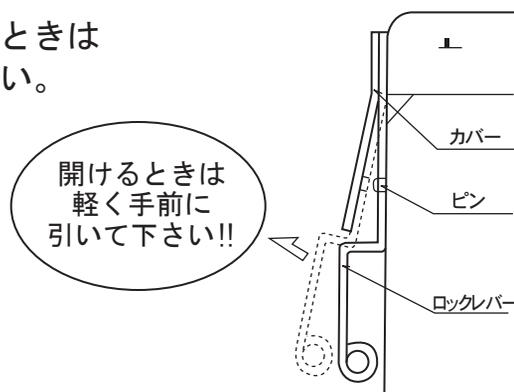
- ◆強風による被害を防ぐため、4ヶ所の設置用孔で取り付けの上、さらにロープ等をも用いて確実に固定してください。



② フタは自動ロック方式です。

- ◆ロックレバーにピンが入っていますので、開くときはレバーを手前に軽く引き、フタを開けてください。
(右図参照)

閉めるときは、フタを持ち上げる様にする
と、スムーズに閉じることができます。
蓋の重さでロックレバーにピンがセット
されますが、念のためにご確認ください。



③ 給餌量の調整について

給餌量の調整は、必ず運転中に行なってください!!

(停止中に量を調整する場合、調整溝部の餌により調整レバーが重い場合がありますので無理をせず、運転しながら調整してください。)

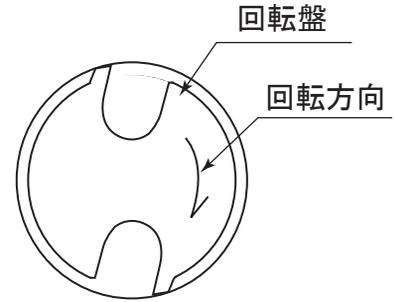
目盛りは0～10までの比例増減で無段階に調整できますので、最適量でご使用いただけます。

- ④ 電源には必ず漏電ブレーカーをご使用ください。
- ⑤ タイマーは24時間方式です。4ページ目の説明を参照に設定してください。
- ⑥ 散布口は適時、掃除してください。
- ⑦ 雨水などの混入した餌を使用しますと、一部にねばりを持ち、調整溝内部に詰まることがあります。調整レバーの目盛りを最大の10に合わせ、しばらく運転し、落下させるか、または付属の掃除棒で、通路、ダンパー部を軽く掃除してください。

4. 点検時の注意

回転盤の回転方向は一方(時計方向)

回転盤の回転方向は矢印方向です。(右図の通り)
点検・掃除の際、手で回される場合は、必ず矢印
方向に回してください。
逆方向へ無理に回すと、破損の原因となります。



点検は電源を切ってから行ってください!!

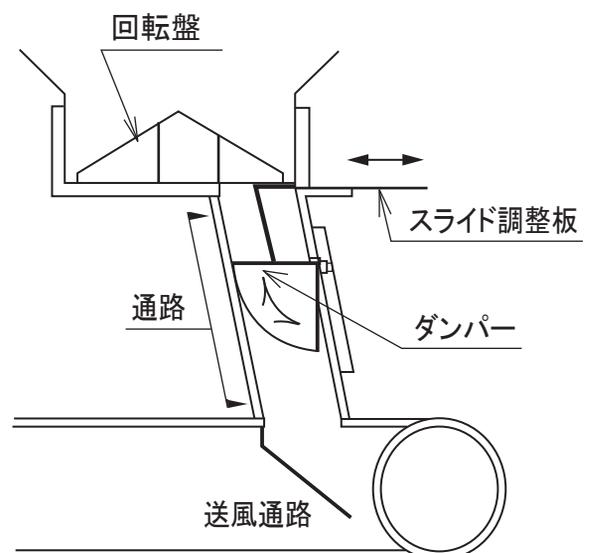
各モータにはそれぞれに、過負荷保護装置が内蔵されています。回転盤や送風機の羽根がロックしますと、モータが過熱し、自動的に保護装置が働き、電気回路を切りモータを保護しますが、温度が下がりますと自動的に復帰しますので、必ず電源を切ってから点検・修理を行ってください。

5. 点検・保守について

- ① 本機は、本体・ベース分離構造ですので、本体取り付けネジ及び、50A散布管ソケットを取るだけで、本体とベースが分離できますので、駆動部などの点検や修理が簡単に行えます。
- ② 使用後、残餌などがいないかご確認ください。特に回転盤及び餌通路部に残餌が溜まる場合がありますので下記の順にて清掃してください。

- 1) 調整レバーの目盛りを10に合わせ
スライド調整板の溝幅を最大に
します。
- 2) 矢印方向に回転盤を手回しで回
させ、切欠部を溝部に合わせます。
- 3) 付属の掃除棒などで、餌通路を
軽く掃除してください。このとき
ダンパーは軽く押すと開きます。

ダンパーは、作動位置や、軽く作動するよう
に調整されていますので、絶対に無理な力
をかけないでください。また、木片・柔らかい
棒などは使用しないでください。



- 4) 送風通路は、散布口側より掃除棒で
掃除してください。

取扱説明書

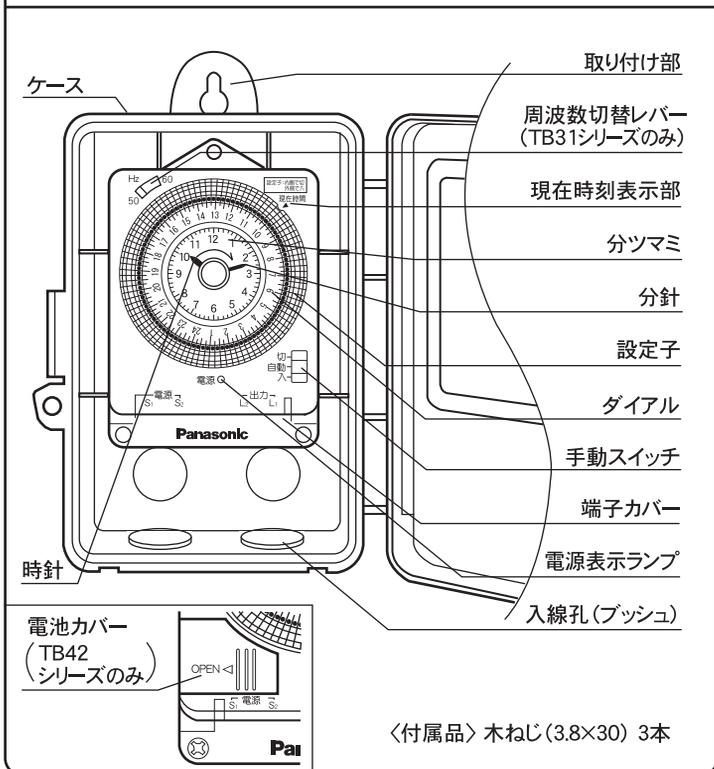
- ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

警告

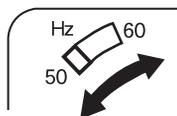
 禁止	●この商品の不具合により人命ならびに社会的に重大な影響を与えることが予測される機器(医療機器や大規模設備等)には使用しない。
 必ず守る	●この商品の不具合により財産に影響を与えることが予測される機器(ヒーターや冷凍庫等)に使用する場合は、定格・性能に余裕をもたせ、かつ二重安全対策を施す。
 禁止	●分解や改造はしない。 ～感電や火災の原因になります～ ●水や油等のかかる場所には設置しない。 ～感電や火災の原因になります～
 必ず守る	●定格以上の負荷を直接制御する場合は、必ず電磁接触器等を用いる。 ～守らないと火災の原因になります～ ●端子ねじは適正締付トルクで確実に締め付ける。 ～ゆるみが生じると火災の原因になります～

各部のなまえ



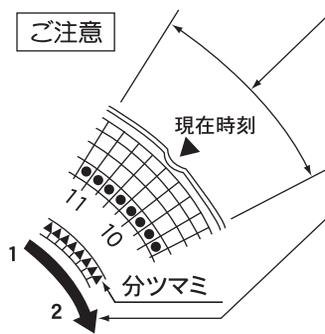
周波数の合わせかた (TB31シリーズのみ)

周波数の切替レバーを地域の周波数に合わせる。



動作時刻の設定

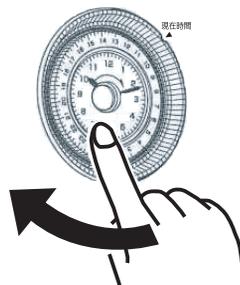
- 希望する時刻間にある設定子をダイヤルの内側(切)または、外側(入)に倒して設定します。



- ①現在時刻表示部(▼)の前後各4本の設定子は動かさないでください。故障の原因になります。
- ②希望する時刻がその部分にかかるときは分ツマミを矢印方向に回してから設定してください。

現在時刻の設定

- 分ツマミを矢印方向へ回して現在時刻を合わせてください。



ご注意

- ・分ツマミは必ず矢印方向に回してください。無理に逆転させると故障の原因になります。
- ・ダイヤルを直接回さないでください。故障の原因になります。
- ・ダイヤルの時刻表示は24時間制です。午前と午後を間違えないでください。

手動スイッチの設定

- 手動スイッチを「自動」の位置にしてください。

「自動」: 設定した動作時刻に従って ON/OFF します。
 「入」: 動作時刻に関係なく ON になります。(連続入)
 「切」: 動作時刻に関係なく OFF になります。(連続切)



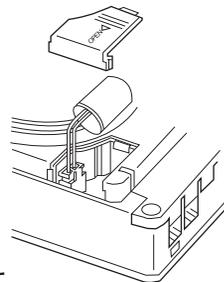
ニッケル水素電池の交換方法 (TB42シリーズのみ)

①ニッケル水素電池の交換方法

電池の寿命は約5年ですが、使用温度が高いほど短くなりますので、早めに交換してください。(品番: TB45002458)

●注意 電池の交換は必ず電源を切って行ってください。感電の危険があります。

1. 電池カバーをはずします。
2. ニッケル水素電池を収納部より取り出しコネクタの接続をはずします。
3. 交換用の電池のコネクタを接続し、正しく収納してください。
4. 必ず電池カバーを取りつけてご使用ください。



②ニッケル水素電池のリサイクルについて

●ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換及びご使用済製品の廃棄に際してはニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。



◆運転操作のご説明

本機は、24時間タイマーとON/OFFスイッチを並列に組み込んでおります。通常運転のご使用は24時間タイマーにより操作してください。

24時間タイマーと関係なく任意に運転を行なう場合はON/OFFスイッチにて運転を行なって下さい。

